

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 Theory of Teaching Method		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職課程(英語教諭、栄養教諭)必修)	教職課程履修者(英語教諭、栄養教諭)
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理等の教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教育原理等の教職科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
教育方法・技術の概念と課題、現代の教授理論、教育課程の構造と類型、学習指導要領についての理解を深め、教育目的・内容の実現のための教育方法及び技術の最適化を考える。				
授業の目標				
○教育方法・技術の概念と現代的課題について正しく認識することができるようにする。○教育課程並びに学習指導要領の内容について正確に捉えることができるようにする。○現代の教授理論を修得し、授業の計画・実施・評価に活用することができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書並びに配布プリントを中心に授業を行うが、「調べる学習・考える学習」を導入し、ディベート、グループ・ワーク並びにディスカッションを行う。単元終了時に小テストを実施する。学期末にはレポートの提出を求める。				
学習の成果(学習成果)				
○教育方法・技術の最適化を正しく認識し、教育現場において活用し、実践することができる。○これまでの学びのシステムを客観的に捉え、現代の教授理論をも踏まえて、授業の計画・実施・評価に生かすとともに、これからの学びをどのように構築すべきであるのか、その方向性を考究し、提案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方についての説明 レポートのテーマと提出期限等についての説明 評価基準の説明			
第2回目	教育方法・技術の概念と課題 教育方法の現代的課題 教育方法・技術の最適化とは			
第3回目	学習指導要領変遷と解説 学習指導要領改訂の基本的考え方			
第4回目	情報機器及び教材の活用 情報化社会と共同的学びの構築を求めて (小テスト)			
第5回目	授業とは何か 授業とその創造			
第6回目	学習主体を育てる授業システムづくり			

第7回目	教育課程とは 教育課程の構造と類型 教育課程の編成と評価	
第8回目	現代の教授理論 教授理論の構造と類型	(小テスト)
第9回目	問題解決学習 デューイの教育哲学 経験の意味 反省的思考	
第10回目	キルパトリックのプロジェクト・メソッド	
第11回目	ブルームの完全習得学習理論 ブルームの学習理論の前提条件 ブルームの学習モデル タキソノミー	
第12回目	ブルームの診断的、形成的、総括的評価	(小テスト)
第13回目	問題解決評価観の意味 真正のアセスメント ポートフォリオ・アセスメント	
第14回目	プロジェクト・メソッドとは アクティブ・ラーニングとは	
第15回目	子どもの学習参加と現代の教育方法・技術に求められる視点 21世紀に求められる教師の資質・能力	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	教材を準備し臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。ノートをきちんととっている。積極的に質問をする。
レポート	20%	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。
調査報告書		
小テスト	20%	単元終了時に小テストを実施する。授業や配布プリントで示された内容を十分に習得している。
試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし、内容構成もきちんとしており、自らの考え方も示されている。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：使用せず 参考図書：「教育原理」教師養成研究会 学芸図書 「教育の方法」山下正俊編著 ミネルバ書房		
履修上の留意点・ルール		
課題意識を持って授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等の持ち込み禁止。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 Theory of Teaching Method		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修	(教職課程必修(幼稚園教諭2種))	児童フィールド
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育原理、教育原理				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
幼稚園教諭免許状取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	水、木、金の9時から16時(授業時間は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
教育方法の原理、幼稚園教育の基本(環境を通しての教育、幼児期にふさわしい生活の展開、遊びを通しての総合的指導、幼児一人一人の特性に応じた指導)、「個」と集団を生かした教育方法。教育の形態、欧米における近代教育方法の成立と展開等について講義し、「生きる力」を育むための教育方法の最適化を考える。				
授業の目標				
○教育方法の原理、幼稚園教育の基本に関する知識、技術を修得することができるようにする。○子どもにとっての遊びの意味と意義、ねらいの総合性、指導の総合性の基本を修得することができるようにする。○個及び集団に対する適切な環境を構成するための基礎的知識・技術を修得することができるようにする。○更に、欧米における近代教育方法の成立と展開を踏まえて「生きる力」を育むための教育方法の最適化についての認識を深めることができるようにする。				
授業の方法				
基本的には、板書および配布プリントを中心とした講義形式で行うが、「調べる・考える学習」も導入し、グループディスカッションなども行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。				
学習の成果(学習成果)				
○幼児教育の方法、指導に関する知識、技術を活用して「生きる力」の基礎を育むことができる。○幼児の発達過程を十分に踏まえて、教育方法の最適化を図り、個及び集団に対する適切な環境を構成し、また遊びを通じた総合的指導によって、子どものあらゆる領域での発達と学びを保障することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と授業の進め方の説明 レポートのテーマ、提出期限の説明 評価基準の説明			
第2回目	「生きる力」とは何か 「生きる力」の基礎を育む教育(保育)とは			
第3回目	教育(保育)方法の原理 教育(保育)の方法とは 教育(保育)における指導と援助とは			
第4回目	環境を通しての教育(保育) 「環境」とは何か 環境の構成と教育的意図 人的環境としての幼児教育者 望ましい環境とは			
第5回目	遊びを通しての総合的指導 遊びとは何か 遊びのとりえ方 遊びによって育つもの 遊びと学習			
第6回目	遊びを通しての総合的指導 系統的指導と総合的指導 「総合的」の意味するもの 幼児教育者(保育者)による援助の方法			

第7回目	教育(保育)の形態 一斉保育 設定保育 自由保育	
第8回目	教育(保育)の形態 集団の編成による考え方(個別、縦割り、解体、統合の各種保育) チーム・ティーチング	
第9回目	個と集団を生かした教育(保育)方法 「個」を生かし集団を育てる 一人ひとりと集団への援助 一人ひとりと集団との関係	
第10回目	欧米における近代教育方法の成立と展開 ルソー、ペスタロッチ、フレーベルの教育思想と方法	
第11回目	欧米における近代教育方法の成立と展開 デューイ、モンテッソリの教育思想と方法	
第12回目	欧米における現代の教育方法 レッジョ・エミリア・アプローチについて NAEYCの発達にふさわしい実践について	
第13回目	幼稚園教育におけるアクティブ・ラーニングについて	
第14回目	幼稚園教育におけるプロジェクト・アプローチについて	
第15回目	変革期の幼児教育を支える保育者に問われているものは	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明)
レポート	20%	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりとしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明)
調査報告書		
小テスト	20%	単元終了時に小テストを実施する。授業内容や教科書に書かれている内容を十分に修得している。(詳細はガイダンス時に説明)
試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超えて、自分の考え方が示されている。(詳細はガイダンス時に説明)
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
使用テキスト:「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」 参考図書:田中まさ子編「保育原理」(株)みらい 教師養成研究会「近代教育史」学芸図書		
履修上の留意点・ルール		
課題意識をもって授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止		